





# 冬休みを迎えて

本年も来る十二月二十五日(水)より来年一月七日(火)まで、二週間の冬休みを迎えることになりました。申すまでもなく、冬休みは年末年始のあわただしい時期で、しかも寒さも一段と厳しい時期でありますので、各家庭におかれましては、児童生徒の生活に十分なご関心とご配慮をいただきますようお願いいたします。

そこで、意義ある冬休みへの手がかりとして、二、三書いてご参考に供してみたいと思います。

先ず第一は、心身ともに健康で安全な毎日でありたいこと。右側一列通行とび出し禁止、一家ごぞつて火の用心、からだや衣服はきれいに、流感予防をしつかりと。

第二は、規律正しい生活を実践したい。—自分で生活計画をつくる、早寝早起き、学習は毎日続けよう、あそび時間、帰宅時刻をよく守るなど。

第三は、他人に迷惑をかける生活でありたい。—自分のことは自分の手で、あそび場所を考へる、あふないあそびをしな、人のいやがることをしないなど。

第四は、正月前後の行事で家庭や社会とのふれ合いを深めたい。—進んでお手伝い、ことばづかいやあ

## 新有権者の感想文を募集します

### 宮崎県選挙管理委員会

わが国の政治は、主権者である私たちが、自ら選んだ代表者によって行なわれるしくみになっており、選挙は、その代表を選ぶ重要な手段です。したがって、民主政治の健全な発展を期するためには、私たちが主権者としての自覚をたかめ、明るく正しい選挙を行なうことによって、はじめに達せられるものとおもわれます。

明るく正しい選挙推進運動は、選挙を通じてよりよい民主政治を実現するために昭和二十七年以来全国的に展開されております。

しかしながら選挙の実情は、理想とする姿にほど遠いものがあり、今後一層の努力をまたなければならぬ現状にあります。

一日も早く明るく正しい選挙の実現を期するために、新しく有権者となられる方を、新有権者として、

- を願われると思ひますので、その方針をご理解下さりまして、親子会などで具体的な実行方法を話し合ってくださいと思ひます。
- それは年末年始の木枯しで寒いことですが、心の中は豊かな芽を育む大切な冬休みの時期であります。よう祈念して止みません。われ、皆様のご家庭に協力
- 新有権者としての民主政治づくりに選挙に対する自覚の内容とするもの。標題は自由
- 第4 枚数 二〇〇字原稿用紙(十枚以内)
- 第5 応募資格 昭和二十三年一月一日から同二十四年十二月三十一日までに生まれた者
- 第6 締切期日 昭和四十四年一月三十一日(当日消印あり)
- 第7 提出先 宮崎県選挙管理委員会 第一号 番地
- 第8 選挙方法 選挙委員会を設けて行ないます
- 第9 入選者決定 昭和四十四年三月中旬(昭和四十四年三月十五日)に開く。正しい選挙推進機関紙「私たちの広場」で発表の予定)
- 第10 賞状および賞金 入選者には、次のとおり自治大臣から賞状および賞金を贈呈します。
- |    |        |
|----|--------|
| 一等 | 賞金 二万円 |
| 二等 | 賞金 一万円 |
| 三等 | 賞金 五千円 |
- 佳作 若干 二千円
- 第11 応募上の注意 一、応募者の住所、氏名(ともしり)がなを付すこと。二、職業、生年月日および職業を原稿の末尾に明記すること。(枚数制限外)
- 二、感想文封入の封筒の表面左下に「感想文在

## すぎし百年の村の歩み

明治二十三年十月に教育に関する勅諭が頒布された。教育勅諭は我が国民の徳の大本を明らかにし国民教育の根本方針を確立したものである。本村各小学校に教育勅諭の謄本が御下賜になったのは明治二十四年の二月であった。教育勅諭に「父兄に孝行を教へては、初めに国民道徳を教育するに在り、父母兄弟に友に夫婦相和し朋友相信に及ぼし学を修め業を成し進んで公益を成し世務を開き常に國憲を重んじ國法に遵ふ」とある。

明治二十八年二月に甲斐定一郎村長が、郵便局長に就任の理由で退職を願ひ出た。村会では村政を継ぐものとしてこれを承認し、中」と明記すること。

三、応募作品は、返却しないものとする。

四、入選作品は、明るく正しい選挙推進運動のために自由に使用できること。

五、この感想文募集が行なわれたこと(新聞紙名、ラジオ、テレビ局名、府県、市町村の広報紙名等)を記入すること。

六、応募作品は、一人一点に限るものとする。

## 青少年のつどい

### 県大会から

第二回「青少年のつどい」宮崎県大会が、青少年育成委員会主催により、九月七日、都城市市民会館で開かれました。

会場は職場の若いグループをはじめ、中学、高校生や育成関係者約千六百名で満員。

延岡、日向、東臼杵地区代表の森田正春君(東郷村鶴野内)等四名が力強い意見発表を行なっていました。

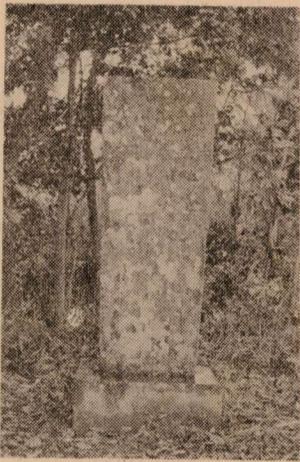
これにこたえて青少年育成委員会長の黒木知事から激励の言葉を述べられました。

## 村に生きる人々

### 三原辰三郎翁

(五)

嘉永のころは鶴野内白浜に二〇ヘクタールの水田があったが、水が枯れ、思うような収穫もないので、村人は相はかって用水溝の開きを延岡藩に願ひだした。延岡藩は直接の事業として嘉永二年(今から一九九年)に用水路開きに着手した。この時の事業の頭取を命ぜられ全責任を負わ



白浜に現在の感謝碑

されたのが三原辰三郎翁である。翁は齢が九十才に近い老翁をひたしてこの工事の完成に全霊を打ちこんだ。鹿瀬から白浜まで全長五キロメートル、その間多くは岩山で工事は大難をきわめた。三年の歳月を経てようやく完成をみた。藩主は翁に感謝状を授け、その功績を讃えた。

その後三十年間、この用水溝はほとんど原形をとどめ、破壊されず、その秋を迎えたのである。明治十三年夏の洪水が、一夜にして白浜の美田は勿

三原辰三郎翁は嘉永七年十一月六日に歿した。嘉永四年一月に、鶴野内門中が白浜に建立した感謝の碑は、時の代官の筆で次のように刻されている。

私にエンジニアとして社会に立って間もなく、病気がおこされ、現在、自宅で農業に従事しています。高校は現在の仕事とは全く無関係の工業コースでしたが、今の経営と取り組んでみて、決して無駄ではな

## 昭和四十四年成人式は中止します

本村成人式は、過去二十年間、一月十五日を基点として、向う一年間に満二十才に達する者に対して成人式を挙げてきました。

このことにつきましては、今までに、当事者である成人者や青年団等より、他町村並びに「過去一年間に満二十才に達した者を対象に成人式を」挙げてほしいとの希望もありましたので、公民館長会、婦人会長等の意見を聞き、満二十才に切替ることになりましたので、昭和四十四年一月十五日の成人式は中止し、昭和四十五年に成人式を挙げることにいたしましたのでお知らせします。

年末貯蓄運動に御協力下さい

東郷農協組合長 黒木 松美

農協の貯蓄運動につきましては、かねてより絶大な御協力をいただきました。誠に有難うございます。お蔭様で貯蓄高は逐年増加して参りましたが、本年の貯蓄高は昨年より増加したにもかかわらず、本年の貯蓄高は昨年より減少した。これは、本年の貯蓄高が昨年より減少したためです。本年の貯蓄高は昨年より減少したためです。本年の貯蓄高は昨年より減少したためです。

村は戸召兵、現役兵の家族に対し戸召割の等級を一年を経過した今日人情風を異にする故を以て村治を支援するとは認めない。2道路は漸次開発され、今日殖産上の不便は認められない。3伝染病等の発生を重きに過ぎるおそれがある。然し両部はその後も再三四認可の請求を陳情を行なったが遂に実現をみなかった。

明治三十三年 小野田小学校を現役敷地に校舎を新築し山陰尋常高等小学校と改め、小野田小学校跡(現在小野田公民館敷地)に役場を移転した。この年、馬治村長が退任後任に就任した。

明治三十七年 日露戦争開戦の年である。

